

安全・安心に暮らせるまちづくり

白石市議会議長

佐藤 英雄
Sato Hideo



まちづくりの主役は市民一人ひとり

白石市長

風間 康静
Kazama Kojo



新 年明けましておめでとう、ございます。市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

最近、どこに行っても多くの方々から「白石は元氣だね」と言われます。おかげさまで、「片倉小十郎公」と「白石温麺」の人気から、大勢の観光客においでいただき、大変うれしく思っております。昨年10月に開催した第2回鬼小十郎まつりも、市内外から多くの観光客においでいただき大成功を取ることができました。12月からは「甲冑のあるまち白石」として、鬼小十郎まつりで使用した甲冑を地域の皆さまに貸し出しする事業も開始しました。さらに、本年はアニメ戦国BASARAの第2シリーズ放送が予定され、さらなる相乗効果が図られるよう、市民の皆さまとともに「ごわい」を創出していきたく思っております。

さて、わが国の経済は11月にデフレが宣言され、景気の悪化が懸念されています。経済の回復が見えない状況の中、地方税の増収は見込めず、本市を含む多くの地方自治体の財政事情は、極めて深刻な状況となっています。このような中発足した新政権は、子ども手当などをマニフェストに掲げ、政策実現のために地方負担を求めると、地方への影響が懸念されます。一方で、地方交付税が一括交付金化されるとのことですが、その制度設計はこれから、全くの未知数であります。これまでに行われた三位一体改革の二の舞にならないためにも、さまざまな発言の場を通して、市民の皆さまが安心して暮らすことができるよう、財源確保を強く訴えてまいります。

このような厳しい環境の中、本市でも聖域なき事業の見直しを進め、一層の行財政改革に取り組み、「共汗・共学・共生」という理念の下、「4万人都市復活大作戦」の各種施策を効果的に展開し、元気で活力あるまちづくりに努めてまいります。特に、雇用確保のための企業誘致は最重要課題と位置付け、さまざまな機会で白石をアピールすることはもちろん、関係機関や市議

市 民の皆さま、明けましておめでとう、ございます。ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。また、日々市議会に温かいご理解と絶大なご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は本市の基本施策であります「4万人都市復活大作戦」の中心的役割実現のための事業が展開され、「工業団地の造成着手」や、既存企業へのサポートおよび積極的な企業誘致の活動窓口として「企業立地推進室」が設置されました。企業の誘致活動に伴い、新婚家庭の家賃・住宅取得への助成、休日保育の実施など、市独自の市民生活サポート事業も内外に広く宣伝され、市政の基本理念である「共汗・共学・共生」による「こころ豊かなふるさと白石」の理解がより一層深まりました。

また、市議会としても「企業誘致促進議員の会」を設置し、市政と一体となり企業誘致・事業推進のための要望活動など、積極的に取り組んでまいりました。

わが国の景気動向は、一昨年からアメリカ発の経済不況が全世界に広がり、やや回復の兆しが見えたとはいえ、本市においては依然として厳しい状況にあります。また「新型インフルエンザ」が深刻な社会問題となり、国・地方とも新たな抜本的対応が強く求められております。

このような変化の激しい社会状況の中、市議会では、今後とも市政の諸課題に対し、的確に対応すべく、議員各位の力を結集し、議会活性化はもとより、市民が「安全・安心に暮らせるまちづくり」にしっかりと対応するため、議員一同決意を新たにしております。

市民の皆さまにおかれましては、今後とも格別なご協力とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。本年も、皆さまにとりまして幸多き年でありまします。議員一同ご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

議員の皆さまと連携しながら、考えられるあらゆる手段を使い全力で取り組みます。また、本年は平成23年度を初年度とする「第5次白石市総合計画」の策定を行います。策定に当たっては「市民総参画のまちづくり」を基本に、市民の皆さまの意見をお聞きしながら、本市の将来像を総合的にとらえた、市民に分かりやすい総合計画を策定してまいります。

まちづくりの主役は市民一人ひとりで、本年も、市民の皆さまとともに、白石の明るい未来のため精いっぱい取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、皆さま方のこの一年のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

2010新年のごあいさつ
～寅年への誓い～

青空の下、雪化粧を施した蔵王の風景（2009年12月9日市役所屋上より撮影）